

地域本部長会議報告(金本部長)

2025 年度 第 1 回地域本部長会議

日 時：2025 年 6 月 9 日(月) 14：00～17：10

場 所：機械振興会館 6 階 65 会議室 対面形式

出席者：黒崎会長、黒川副会長、小林副会長、田沼副会長、眞先専務理事、田附常務理事・総務部長、月岡常務理事・技術士試験センター長、薄井総務委員会副委員長、(地域本部長) 金(北海道)、平野(北陸)、平田(中部)、田岡(近畿)、福田(中国)、天羽(四国)、佐竹(九州)

議 長：遠藤東北本部長

書 記：有馬東北本部事務局次長

【会長挨拶】

- ・このメンバーでの会議は今回が最後となります。皆様のおかげで議事は速やかに進められたと感じており 2 年間ありがとうございました。
- ・定時総会のウェブ委任投票率について、地域本部では 6～7 割と高い実施率が得られていますが、まだまだ足りない状況です。16 日の締め切りまであと 1 週間よろしくをお願いします。

【議事】

I. 統括本部報告(主要議題)

1. 当面の主要行事予定について
 - ・定時総会(6/16)、地域産学官セミナー(四国・10/3)、全国大会(九州・10/25～28)、北東 3 地域本部技術士交流会(11/7)、西日本技術士研究・業績発表年次大会(広島・11/14～15)、地域産学官セミナー(中部・12/13) 他
2. 技術士 CPD 実績管理登録状況について
 - ・2025 年 4 月 30 日時点の CPD 実績記載申請者数総計は、正会員 3,054 名、非会員 938 名、合計 3,992 名。技術士(CPD 認定)認定者数は、正会員 1,189 名、非会員 535 名、合計 1,724 名。
3. 技術士法及び技術士法施行規則の一部改正について

- ・発信元が技術士試験センターとなっているが、法令改正は文科省所管のため、表記の検討を行う。

4. 科学技術・学術審議会 第 49 回技術士分科会について

- ・受験および登録手数料改定予定額について金額を検討中。今後の改定頻度を抑える水準で設定予定。
- ・技術者の育成に関する現状・課題・今後の方向性(案)について、分科会では、文部科学省から他省庁への具体的な働きかけについての議論は行われていない。技術士制度の普及・活用促進は重要なテーマであり、今後の検討課題である。また、与党議連への情報提供や、各界への発信に向けた機運が高まりつつある。
- ・技術士制度改革の中の継続研鑽について、目指すターゲットの明確化が求められている。理想は維持しつつ、現実的な課題を踏まえたターゲット設定が必要。今後は制度全体の「ブランドデザイン」を視野に入れ、議論の場の設置も検討する。

5. 令和 7 年度子ども霞が関デーについて

- ・平成 12 年(2000 年)から開始されている標記イベントについて、今年度も 8 月 6 日(水)・7 日(木)に開催される。

6. 第 67 回定時総会 委任状実施率について

- ・定款変更に必要な票数まで約 1,200～1,300 票不足。メール・電話で依頼継続中。専門部会からも協力要請し、緊迫感の共有を図る。

7. 与党技術士議員連盟について

- ・与党議員連盟の支援を受けているが、党派を超えた国会全体での支援が望ましいとの意見もある。今後は野党の動きにも柔軟に対応していく必要がある。

II. 地域本部関係[審議事項]

- ・なし

III. 地域本部関係[意見・要望等]

- (1) 地域産学官と技術士との合同セミナーに関する要望(中部本部)
 - ・①統括本部からの来賓者の選定、②パンフレット

への執筆、③後援の相談について、後日調整後、連絡する。

(2) 実行委員会参加の交通費補填について (中部本部)

- ・実行委員への交通費支給規定はなく、地域本部推薦の裏付けもないため、統括本部による支給は原則不可。ただし過去に例外あり。規定との乖離を踏まえ、総務委員会で見直しを検討中。改めて回答予定。

(3) 技術士 CPD 行事申込一覧 (CPDWEB 登録の非会員) の活用状況について (中国本部)

- ・非会員の CPDWEB 登録が少なく、周知不足。会員拡大のため、広報方法の見直しが必要。→担当に確認する。

(4) 技術士 CPD 実績管理登録者と技術士 (CPD 認定) 者の増加に向けて (中国本部)

- ・技術士 CPD 実績管理登録者は、所定の 2 年間の実績の登録が済んでいる技術士の人数でしょうか。2 年に至らなくとも現在実績管理登録中もカウントされているのでしょうか。
- 2 年間の CPD 実績登録は、初回申請時の特例。CPD 認定は 5 年間で 250 時間 (年間 50 時間)。
- ・他の審査機関による CPD 登録実績を技術士会の実績管理として移行する場合、手間がかからない方法になっているか。

→ 当該機関の PDF 実績証明の添付で簡単にできる。登録方法は技術士会 HP の動画を参照。

(5) 九州本部事務局のテナント貸室の賃料値上げについて (九州本部)

- ・統括本部は赤字が続いており支援困難。各地域本部で参加費設定や安価物件の検討をする。
- ・CPD 行事収入は年間約 500 万円増加。収入の優先活用を促す文書を準備中。

(6) 会員情報の自宅住所、自宅電話番号の初期設定を非公開にして欲しい (東北本部)

- ・住所・電話番号は非公開に変更可能だが、初回ログインまで公開状態。総務委員会で検討予定。

(7) 会員呼称の統一について (中部本部)

- ・非会員あるいは未会員という呼称が混在しているが、未会員に統一してはどうか。→今後の議論課題とする。

(8) 会員拡大や技術士 CPD 実績管理登録者・技術

士 (CPD 認定) 者の増加策について取り組み事例を教えて欲しい (中国本部)

- ・九州本部：協賛団体会員の社員 1 名 (正会員以外の技術士または士補) は CPD 参加費無料に本年 4 月から変更し、2 名を超える社員は正会員と同額で参加可能とした。県支部の場合は、協賛団体会員の社員に対して一部の CPD を会員価格で参加できるように変更した。これから効果を検証予定。
- ・四国本部：昨年一年間で 13 人の新規入会者があった。さらに入会者を増やせるよう、昨年より青年技術士交流会主催でも合格祝賀会を開催している。
- ・北海道本部：合格祝賀会で委員会等の活動紹介。青技交が合格者を二次会無料招待で入会促進に繋がっている。CPD 行事は有料開催で、協賛団体に無料券発行や、会員非会員にかかわらず CPD 行事のメルマガの登録を案内するなどしている。
- ・近畿本部：合格者祝賀会で部会・登録グループ等の活動についてポスターセッションで紹介している。
- ・東北本部：協賛団体・会員を増やすために企業や官公庁等の訪問活動を実施。訪問活動を通じ、会員にはどんな支援があるかなど情報交換をしている。

(9) 「緩やかな連携」についての情報提供のお願い (東北本部)

- ・取り組み事例などある場合、後日東北本部に情報提供をお願いする。

IV. 地域本部関係 [報告]

各地域本部から、行事開催及び開催予定などについて報告があった。(以下、北海道本部の報告掲載)

- ・第 26 回北東 3 地域本部技術士交流研修会 (北陸本部開催)：2025 年 11 月 7 日 (金)。
- ・第 45 回地域産学官と技術士との合同セミナー：2026 年 2 月、日時未定。
- ・第 60 回年次大会：2025 年 7 月 15 日 (火)。

理事会報告 (羽二生理事)

2025 年度 第 1 回理事会

日時：2025 年 5 月 9 日 (金) 14：00 ～ 18：00

場所：機械振興会館 6 階 67 会議室 + WEB 会議 (Teams)

議題 (主なもの)

【審議事項】 以下の 10 件が審議・承認された。

1. 2024 年度事業報告及び収支決算について

2024 年度の事業報告として、1. 技術士制度における IPD・CPD、2. 技術士資格の活用促進・普及拡大に向けた取り組み、3. ガバナンス強化に向けた取り組み、4. 個別の主な事業実施 (技術士及び技術者の倫理の啓発、技術士の資質向上、会員の社会的活動への支援、技術系人材の育成、国際交流、国際協力活動及び国際資格への対応、情報発信・連携の強化、組織運営力の強化、大規模自然災害に対する防災・復興支援活動への貢献)、5. 会員数、6. 技術士試験結果、7. 技術士・技術士補登録者数、8. 技術士 CPD 実績管理事業、についての概況が報告された。引き続き、一般事業、指定事業 (技術士試験センター、技術士 CPD センター) の概要報告、各会計の収支報告、財務諸表の説明が行われたのち、公認会計士による会計外部監査、監事による内部監査の結果、問題のないことが報告された。

2. 第 67 回定時総会の開催日時・議題等について

今年度の定時総会 (第 67 回) の開催と議案等が承認された。

- ・日時：2025 年 6 月 16 日 (月) 15 時 00 分から 16 時 45 分まで
- ・場所：大手町サンケイプラザ (東京都千代田区大手町 1-7-2)
- ・議案：第 1 号議案 役員の選任について、第 2 号議案 定款の変更について
- ・報告事項：2024 年度事業報告及び同収支決算報告、並びに監査報告、2025 年度事業計画及び収支予算

総会終了後、以下の会議、行事が開催されます。

16：50～17：10 新役員による臨時理事会

17：15～17：45 名誉会員推挙状授与、フェロー認定証授与及び会長表彰式

17：45～懇親会受付

18：00～19：30 懇親会

- ・本年の総会運営について

当日の議事進行の様子はウェブ掲載用に収録

し、後日ホームページの会員コーナーに掲載し、会員への広報を行う。

総会後の懇親会について、参加希望の会員は事前に申込を行うこととする。(参加費 5,000 円)

3. 第 67 回定時総会における役員の選任について

原案どおり承認された。

- ・理事の選任：8 地域本部 + 22 部会 = 30 名 (北海道本部理事：金秀俊氏～北海道本部長兼務予定)
- ・監事の選任：2 名 (電気電子部会・建設部会)
- ・常任理事の選任：専務理事 1 名 (眞崎正人氏・継続)、常務理事 2 名 (田附武志氏・継続、月岡靖氏・継続)

4. 公益社団法人日本技術士会定款の変更について

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律」(令和 6 年 5 月成立・公布)が、令和 7 年 4 月 1 日より施行されること等に伴い公益社団法人日本技術士会 (以下、「本会」という) の定款の変更が必要となった。

今回の法律改正において、公益法人が適正に運営されるためには、理事会 (理事) による職務執行の監督、監事による職務執行の監査等を通じたけん制機能が発揮されることが不可欠であり、理事会や監事がその機能を発揮する上で、法人外部からの視点を取り入れることが重要であることから、理事及び監事の各一人以上は、法人外部の人材を選任することが公益認定の基準とされた。

本会の定款には、『外部理事』、『外部監事』の記載がないことから、条文の変更が必要となる。また、今回の法律改正に伴い、公益法人会計基準も見直され、従来の『正味財産増減計算書』が『活動計算書』に名称・記載内容が変更されたことから、定款の条文を変更する必要がある。

5. 2025 年度新名誉会員について

推薦された 18 名について承認された。北海道本部の該当者なし。

- ・規則第 2 条第 1 号：理事又は監事の在任期間が 1 期 2 年以上、10 名。
- ・規則第 2 条第 2 号：地域本部長又は部会長の在任期間が 4 年以上、1 名。
- ・規則第 2 条第 5 号：諸役職歴の評価点が 100 点以上、7 名。

6. 2025 年度フェロー認定について

フェロー認定の申請があった更新 16 名について、フェロー制度の運営に関する規則第 3 条第 1 項に基づき審査の結果、認定要件を満足することが確認され、理事会に付議の上承認された。なお、新規申請は無し。

7. 2025 年度会長表彰者について

会長表彰規則第 2 条第 1 号、2 号に基づき推薦があった候補者(85 名)について選考した結果が、同規則第 6 条 1 号により理事会に付議の上承認された。→第 2 条 1 号(入会歴 35 年以上で本会発展に貢献があった会員)26 名、第 2 条 2 号(入会歴 10 年以上で地域本部、部会、委員会からの推薦)59 名

※北海道本部関係者：青木信成氏、荒木雅紀氏、飯野良枝氏

8. 役職員倫理規則(コンプライアンス規則)について

2023.5.10 理事会制定承認、2024.9.19 改訂の倫理規則について、以下の改訂が承認された。(反社会的勢力との関係)

《現行》

第 10 条 役職員は、社会の秩序や健全な発展に脅威を与える反社会的勢力に対して、経済的な利益を供与しない。

《改訂》

第 10 条 役職員は、社会の秩序や健全な発展に脅威を与える反社会的勢力とは、取引関係を含めて一切関係をもたない。

9. 研修委員会所管の規則・手引きの整備について

現状、CPD 行事の講師から「行事参加、e ラーニング利用」について許諾を得る手続きに関する規則・手引き(および許諾依頼等の様式)が 2 種類あり、依頼手続きが煩雑になっている。加えて、非会員対象者の記載が分かり難い～ことを踏まえ、規則・手引きの整備(改廃)を行う。

《改訂》

- ・技術士 CPD 行事の講演内容等のウェブ配信、収録及びウェブ掲載に関する規則
- ・技術士 CPD 行事の講演内容等のウェブ配信、収録及びウェブ掲載に関する手引き

《廃止》

- ・技術士 CPD 行事の講演内容等の e ラーニング

に関する規則

- ・技術士 CPD 行事の講演内容等の e ラーニングに関する手引き

10. 会員の入会等について

3 月末時点の正会員は 16,313 名(前月比－315 名)、準会員は 3,078 名(前月比＋11 名)、賛助会員は 153 社(前月比変動 0)となった。

【報告事項】

1. 令和 6 年度技術士第二次試験結果について

2,395 名が合格した等の報告があった。

2. 技術士法及び技術士法施行規則の一部改正について

刑法等の一部改正(用語の変更:禁固刑(改正前)→拘禁刑(改正後))に伴い、刑法規定の該当部分を引用している技術士法(ex. 欠格条項)及び同法施行規則(ex. 登録申請書式の該当部分)の一部が改正された報告があった。

3. 2025 年度役員候補者選出選挙等結果について

4 月 22 日に開票された結果について報告があった。

- ・理事(30 名)・監事(2 名):選挙権を有する正会員 16,619 名からの有効投票は、8,443 票。(有効投票率 50.8%)

北海道本部選出の金秀俊氏は得票数 596 票。

- ・地域組織幹事:開票の結果 94.9～100%の高い信任率にて、立候補された全員が信任された。8 地域本部全体での有効投票は 4,548 票(49.4%)、31 県支部全体での有効投票は 4,142 票(45.8%)。北海道本部の投票率は 57.1%であり 8 地域本部で最も高い。

- ・部会長:機械部会のみ立候補者が 2 名だったため、投票となり濁川義和氏が当選した。その他の部会では立候補者が 1 名だったため、無投票での当選となった。

4. 技術者倫理事例集の Pe ラーニングシステム登録について

倫理委員会委員長から Pe ラーニング掲載について報告があった。

5. 技術士 CPD 実績管理登録状況(2025.1.31 時点)

(1) 2021.9 月以降の年度別新規記載申請者実人数 ; ()内は、技術士(CPD 認定)

- ・2021 年度：正会員 899 (219) + 非会員 42 (19) = 941 (238) 人
- ・2022 年度：正会員 959 (300) + 非会員 355 (136) = 1,314 (436) 人
- ・2023 年度：正会員 656 (339) + 非会員 418 (342) = 1,074 (681) 人
- ・2024 年度：正会員 375 (280) + 非会員 74 (37) = 449 (317) 人
- ・総登録者数：正会員 2,889 (1,138) + 非会員 889 (534) = 3,778 (1,672) 人

(2) 2024 年度技術士 CPD 実施法人証明書を
もっての記載申請者数内訳 (順不同)

建設コンサルタンツ協会 118、土木学会 20、
日本建築士会連合会 5、日本造園学会 3、農業
農村工学会 111、森林・自然環境技術教育研究
センター (JAFEE) 2、全国地質調査業協会連合
会 (土質・地質技術者生涯学習協議会) 9、全日
本建設技術協会 1、合計 269

(3) 部門別の正会員総数に対する割合 (上位 4 部
門)

① 金 属 105 (29.7%)、② 農 業 249
(28.6%)、③総監 1,103 (24.9%)、④応用
理学 209 (24.4%)

※建設 1,321 (18.8%)

(4) 地域本部別の正会員総数に対する割合 (上位
4 地域～15%以上)

①関東 8 支部 1,748 (24.0%)、②東北 260
(21.6%)、③北海道 209 (19.3%)、④中部
239 (17.9%)

※平均 17.7%

6. 技術士 CPD 行事における講演内容等のウェブ
配信収録及びウェブ掲載に関する手引きについて
審議事項 9. 研修委員会所管の規則・手引きの
整備 の具体的な内容について報告された。

7. こども霞が関見学デーの実施について

霞ヶ関に所在する文部科学省をはじめ、各府省
庁等が連携し、所管の業務説明や関連業務の展示
等を行うことにより、夏休み期間中に子供たちに
広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対す
る理解を深めること、活動参加を通じて親子の触
れ合いを深めてもらうことを目的とした取り組み
で、平成 12 年 (2000 年) から開始され、今年は

30 の府省庁等が参加予定で、「こども霞ヶ関見学
デー」としてさまざまなプログラムを実施される
予定。

- ・実施日：2025 年 8 月 6 日 (水)・8 月 7 日 (木)
(参加自由)
- ・プログラム：「こども霞ヶ関見学デーガイドブッ
ク」や文部科学省・各府省庁のプログラム等 (6
月下旬頃に公表される予定)
- ・日本技術士会の参加：社会委員会科学技術振興
支援委員会、社会委員会防災支援委員会、男女
共同参画推進委員会が出展参加を予定。

8. 外部委員会委員等の委嘱について

以下の 7 つの外部委員会等への委員委嘱が報
告された。

- ・東京都監査専門委員 (技術分野)：社会委員会/6
名 (任期：2025.4.1～2026.3.31)
- ・JABEE 理事：統括本部 (専務理事)/1 名 (任期：
委嘱日～2027.6)
- ・JABEE 専門職大学院認証評価委員会 (情報)：
情報工学部会/1 名 (任期：委嘱日～2027.6)
- ・JABEE 国際協定および国際事業委員会：国際
委員会/1 名 (任期：委嘱日～2027.6)
- ・JABEE 認定事業委員会：研修委員会/1 名 (任
期：委嘱日～2027.6)
- ・JABEE 認定・審査調整委員会：研修委員会/1
名 (任期：委嘱日～2026.3)
- ・JABEE 基準総合調整委員会：研修委員会/1 名
(任期：委嘱日～2027.6)

9. 常設委員会等報告について

常設 7 委員会 (倫理、総務、企画、研修、広報、
社会、国際)、個別規定 3 委員会 (男女共同参画、
技術士制度検討、技術士資格活用) より活動状況
と今後の予定が報告された。

理事会報告 (金理事)

2025 年度 第 2 回理事会

日時：2025 年 7 月 9 日 (水) 14:00～17:00

場所：機械振興会館地下 3 階研修室 1 + WEB 会
議 (Teams)

議題 (主なもの)

【審議事項】 以下の 16 件が審議・承認された。

1. 審議員の選任について

理事又は監事経験者から審議員 16 名の選任が承認された。北海道本部から羽二生望氏が選任された。

2. 理事の委員会所属について細かいですが

会長発議による、今期選出理事の委員会(7つの常設委員会、3つの個別規則に基づく委員会)配置案が承認された。北海道本部選出理事(金秀俊氏)は研修委員会に配置。

3. 地域本部長の選任について

北海道本部長(金秀俊氏・継続)ほか、7地域の本部長(うち新任1名)が承認された。

4. 関東甲信地域県支部長の選任について

関東甲信地域8県支部(神奈川、埼玉、長野、山梨、千葉、茨城、栃木、群馬)の支部長の選任が承認された(うち新任4名)。

5. 部会長の委嘱について

19部会の部会長の委嘱が承認された(うち新任7名)。

6. 実行委員会委員の継続再任について

CPD支援委員会3名、修習技術者支援委員会1名、青年技術士支援委員会2名、防災支援委員会1名、海外活動支援委員会5名、日韓技術士交流委員会4名に対し、任期制限を超えて1期2年延長を認める審議の結果が承認された。

7. 常設委員会及び実行委員会委員の委嘱について

倫理委員会23名、総務委員会29名、企画委員会23名、研修委員会26名、広報委員会26名、社会委員会24名、国際委員会21名、CPD支援委員会17名、修習技術者支援委員会21名、青年技術士支援委員会27名、技術士活性化委員会16名、防災支援委員会26名、科学技術振興支援委員会12名、日韓技術士交流委員会11名、海外活動支援委員会23名の委嘱が承認された。

8. 実行委員会委員長の選任について

研修委員会所管の3委員会(CPD支援、修習技術者支援、青年技術士支援)、社会委員会所管の3委員会(防災支援、科学技術振興支援、技術士活性化)、国際委員会所管の2委員会(日韓技術士交流、海外活動支援)の委員長8名の選任が承認された(うち新任7名)。

9. 男女共同参画推進委員会の名称・目的等の変更及び委員の委嘱について

日本技術士会 DEI 推進宣言の策定を機に、男女共同参画推進委員会の活動内容を DEI 推進に関わる事項に拡充するため、委員会名称(DEI 委員)と目的等の変更ならびに設置・運営の規則変更が承認された。また、DEI 委員会 25 名の委嘱が承認された。

10. 技術士制度検討委員会の設置及び委員の委嘱について

技術士制度検討委員会について、引き続き検討を行う必要がある課題に対応するため、第6期の設置が承認された。また、当該委員会の委員9名の委嘱が承認された。

11. 技術士資格活用委員会の設置及び委員の委嘱について

技術士資格活用委員会について、引き続き検討を行う必要がある課題に対応するため、第4期の設置が承認された。また、当該委員会の委員14名の委嘱が承認された。

12. 技術士 CPD 実績管理委員会設置運営規則の変更及び委員の委嘱について

技術士 CPD 実績管理委員会の設置・運営規則において、設置期間が規定されていなかったことから規則を変更することが承認された。また、当該委員会の委員18名及び委員長(高木茂和氏)の委嘱が承認された。

13. 技術士 CPD 審査ワーキンググループ委員の委嘱について

技術士 CPD 実績管理委員会技術士 CPD 審査ワーキンググループ委員10名の委嘱が承認された。

14. 日韓協定書履行推進ワーキンググループの設置及びワーキンググループ員の委嘱について

日韓両国の協定書内容の履行推進に向け、国際委員会、日韓技術士交流委員会はもちろんのこと、日韓関係に知見を有する会員の協力が望ましいことから標記ワーキンググループの設置が承認された。また、当該ワーキンググループ員13名の委嘱が承認された。

15. 第 53 回技術士全国大会運営委員会の設置について

統括本部にて企画運営する 2027 年第 53 回技

術士全国大会について、「第 53 回技術士全国大会運営委員会」の設置及び設置・運営規則が承認された。

16. 会員の入会等について

5 月末時点の正会員は 16,552 名(前月比+185 名)、準会員は 2,981 名(前月比-7 名)、賛助会員は 153 社(前月比変動 0)となった。

【報告事項】

1. 第 67 回定時総会(2025.6.16)開催結果報告について

黒崎靖介会長を議長として、正会員総数 16,113 名、出席正会員数 12,344 名(うち議決権代理行使 12,242 名)で、定款第 21 条 1 項の規定に基づき第 1 号議案、定款 21 条 2 項の規定に基づき第 2 号議案の決議が可能となり、いずれも賛成多数で承認された。

- ・日時：2025 年 6 月 16 日(月) 15 時～ 16 時 29 分
- ・場所：大手町サンケイプラザ 301 号室～ 304 号室
- ・議事：
第 1 号議案：役員の選任について
第 2 号議案：定款の変更について
(報告事項)

- 1) 2024 年度事業報告及び同収支決算報告並びに監査報告
- 2) 2025 年度事業計画及び収支予算について

2. 令和 7 年度技術士第二次試験受験申込状況について

第二次試験受験申込概況： ()は前年度

- ・全体 30,700 (29,846)、20 部門 27,543 (26,776)、総監 3,157(3,070)
- ・女性：全体 2,319(2,161)、20 部門 2,157 (2,005)、総監 162(156)
- ・北海道受験地：全体 1,588(1,558)、20 部門 1,400(1,373)、総監 188(185)
- ・申請方法の割合：WEB 申請者数 18,131 名 (59.1%)、郵送申請者数 12,569 名(40.9%)

3. 日本機械学会との行事の共催について

2025 年 10 月 18 日(土)に日本大学理工学部で開催する日本機械学会と日本技術士会機械部会の共催イベントについて報告があった。

「成功する技術者のスキルアップ術(案)」をテーマに、技術開発を通じて課題克服、スキル、働き方、資格など、講演者の経験を踏まえて話をしてもらうイベントであり機械学会と共催するもので、毎年継続していく計画の 4 回目。

4. 技術士 CPD 実績管理登録状況について

(1) 新規記載申請者人数、技術士 CPD 認定数(カッコ内数)

年度	正会員	非会員	合計
2021	899(219)	42(19)	941(238)
2022	959(300)	355(136)	1,314(436)
2023	656(339)	414(342)	1,074(681)
2024	375(280)	74(37)	449(317)
2025 (4、5 月)	199(95)	53(7)	252(102)
総計	3,088 (1,233)	942 (541)	4,030 (1,774)

(2) 2025 年度 他の CPD 認証機関による記載申請数

総数 119 (①建コン協 65、②農業農村工学会 36、③土木学会 13、④全国地質調査業連合会ほか 5)

(4) 部門別 TOP5 ※ () CPD 認定

- ・実数：①建設 1,401 (511)、②総監 1,164 (517)、③機械 317(121)、④電気電子 312 (121)、⑤農業 254(133)
- ・比率：①金属 30.0 ②農業 28.6%、③総監 26.8%、④応用理学 25.9%、⑤森林 25.0%

(5) 地域本部別 TOP5 ※ () CPD 認定

- ・実数：①関東 8 支部 1,870 (748)、②東北 278 (79)、③中部 251 (88)、④北海道 222 (90)、⑤九州 185(72)
- ・比率：全国平均 18.7%、①関東 8 支部 25.4%、②東北 22.7%、③北海道 20.2%、④中部 18.6%、⑤九州 13.1%

5. 技術士 CPD 行事講演に関する手引きの改定について

研修委員会所管の規則・手引きの整備について、「行事参加、e ラーニング利用」について許諾を得る手続きに関する規則・手引き(および許諾依頼等の様式)が 2 種類あり、依頼手続きが煩雑になっている。加えて、非会員対象者の記載が分かり難いことを踏まえ、規則・手引きの整備(改廃)

を行う。

この変更内容について、2025 年 5 月 9 日の理事会で規則の改訂が承認された。

手引きの改訂は報告事項であるが、5 月理事会での報告資料に対し修正意見が挙がったため、これを踏まえて改訂内容を再度見直し、7 月理事会にて報告された。

6. 令和 7 年度こども霞ヶ関見学デーの実施について

こども霞ヶ関見学デー(実施日：2025 年 8 月 6 日(水)・8 月 7 日(木))について、日本技術士会から科学技術振興支援委員会、防災支援委員会、男女共同参画推進委員会が出展する。

- ・科学技術振興支援委員会：理科クイズに挑戦！これで君も理科はかせ(理科に関する○×クイズに挑戦。いい点とったら「理科はかせ」に認定！。実演コーナーあり)
- ・防災支援委員会：技術士に挑戦—実験で再現して学ぶ災害の危険性—(まちの危ない場所を探せ。危険な土はどれだ。水の中で何を履いて逃げるか ほか。)
- ・男女共同参画推進委員会：アルテミス計画シミュレーター—宇宙飛行士になって月面着陸！—(シミュレーションゲームで地球から月までいってみよう！宇宙船の操縦士になってエンジンスイッチを操作し月面着陸にトライ！。技術士クイズ。)

7. 『魔改造の夜 THE MUSEUM』の紹介について

NHK テレビ「魔改造の夜」のイベントが 8 月 25 日(月)～9 月 2 日(火)にベルサール秋葉原にて開催される。日本技術士会も後援。

8. 外部委員会委員等の推薦について

以下の外部委員会等への委員推薦が報告された。

- ・葛飾区情報公開・個人情報保護審議会：男女共同参画推進委員会/1 名(任期：委嘱日～2027.3)

9. 会員による活動グループの変更・登録取消について

以下の会員による活動グループの変更、登録取消が報告された。

(変更)

- ・名称変更：IPD 研究会(初期技術者教育を研究する会)→ IPD 研究会(初期専門能力開発を研究する会)
- ・会長交代：ISO・経営支援センター(取消)
- ・実装技術研究会／情報化研究会／成功・失敗体験教育研究会

10. 常設委員会等報告について

常設 7 委員会(倫理、総務、企画、研修、広報、社会、国際)、個別規定 3 委員会(男女共同参画、技術士制度検討、技術士資格活用)から活動報告があった(詳細省略)。

11. 2025 年度業務状況報告について

(1) 一般会計

- ・事業活動収入／①正会員入会金：370 万円計上され予算(800 万円)に対し約 46%の状況である。②会費：正会員については対予算で約 101%の状況で準会員は約 93%の状況である。年度途中からの入会者分が今後計上される。③事業収入：受託事業を含め未計上のものもあり約 9%の進捗である。
- ・事業活動支出／①事業費支出：受託事業を含め未計上のものも多くあり現時点では約 14%の進捗である。②管理費支出：固定的経費が多く、年度経過に応じた計上がなされている。

(2) 特別会計

- ・事業活動収入／①試験事業 1)．一次試験受験手数料は、受験申込受付期間(6/11～6/26)が終了していないため、6 月以降の計上となる。2)．二次試験受験手数料は、約 419 百万円計上され、予算(約 420 百万円)に対し、約 99.8%の状況である。②登録事業：登録手数料収入は、2024 年度の合格に伴う登録申請を中心に計上され、予算比約 36%の状況である。
- ・事業活動支出／①試験登録事業：試験実施前のため、予算比 8%の進捗である。②試験・登録人件費等：固定的経費については年度経過に応じた計上がなされている。